

## 2026年度ゼミ（演習1）要覧

担当者名	孫 占坤（ソン センコン）
演習テーマ	「紛争」から学び、「平和」を考える
演習の内容	中東、東欧をはじめ、国際社会では戦争・紛争が多発している。なぜ対立が起き、続くのか、妥協や解決の道筋があるのか。これらを基本的な問題意識とし、ゼミで近代主権国家・国民国家形成の歴史と理論を学びつつ、紛争事例について分析・考察を行う。2年次では基礎的学びとしてナショナリズム・主権国家に関わる基本的概念、歴史、理論についてテキストを講読する。3年次では過去また現在進行中の具体的紛争を取り上げ、議論を行い、夏休みに校外実習も行う予定。実習先として1, 旧ユーゴスラヴィア（ボスニア、セルビアを想定）、2, キプロス、3, ジョージア、4, マレーシアのどれかに絞ることになるが、安全性、費用等を総合判断して日本国内（北海道、沖縄）に切り替えることもあり得る（国内に切り替える場合、学びのテーマも若干調整する）。実習の実施先・時期は3年次最初のゼミで受講者全員による協議のうえ、確定される。
テキスト・参考書	1, 塩川伸明『民族とネーション—ナショナリズムという難問』岩波書店。 2, 福田歓一『国家・民族・権力—現代における自由を求めて』岩波書店。 3, 月村太郎『民族紛争』岩波書店。
成績評価の基準	授業で報告・討論参加：70%、期末レポート：30%
校外実習	( <input checked="" type="radio"/> 実施する) / 実施しない )
校外実習を実施する場合、実習地・時期、個人負担額	海外（バルカン・中近東）の場合：2027年9月上中旬のうち、一週間強（9～10日間）、30万円(+α)程度。日本国内またマレーシアの場合：上記時期のほか、同10月末・11月上旬（白金祭期間）実施の可能性もあり、20万円程度。
選考方法	1, 小論文、2, 応募者全員参加の「集団面接」（＝ゼミの討論会のような感じ。積極的に発言する人を優先的に採用する）
小論文 (テーマ、書式・枚数、提出期限・方法)	応募者は下記の要領で「小論文」を作成し、第一次募集申込受付（manaba のレポート機能）時に申込書と共に（ワードのファイルで）提出してください。 テーマ：「孫ゼミ応募の動機」、字数：計800字程度* *まず、400字程度で「なぜ孫ゼミに応募したのか」を説明すること、後半の400字は「ゼミにどんな貢献ができるのか」をアピールすること。「誰とも仲良くできる」、「協調性がある」といった抽象的表現ではなく、例えば、「自分は撮影が趣味、校外実習時に皆さんの活動をビジュアルに記録することができる」等、自分の長所をなるべく具体的にアピールしてください。
メールアドレス	sun@k.meijigakuin.ac.jp
説明会・オフィスアワー	2026年5月8日（金）、12日（火）、15日（金）、 いずれも12:40～13:20、8号館2F会議室
履修済・履修中であることが望ましい授業	欧州・西アジア・東南アジア地域に関する「地域研究」系科目、平和学1、国際関係法
2027・2028年度に在外研究等で演習を開講しない可能性	あり（2027・2028年度） / なし

認定留学期間中(演習 2・3開講学期中)の 遠隔指導*	<input checked="" type="radio"/> 可 / 否 / その他( )
備考	集団面接日時・場所：2026年6月2日(火)19:00～20:15。 19:00～19:15 は軽食 (教員は用意)・トイレ休憩、8号館 2F 会議室。

\*「遠隔指導」については、「演習1」選考に関するガイダンス資料を確認のこと。